釧路市業務系仮想基盤の賃貸借 仕様書

釧路市総務部情報システム課

1. 概要

釧路市では、2015年度に仮想基盤を構築している。本仕様書は、そのうち2019年度（平成31年度）に導入した、業務系システムを収容する仮想基盤を更改し、現行仮想サーバー等に移行して再構築を行い、それを賃貸借するためのものである。

更改にあたり、既存の仮想基盤で導入済の機器と連携することが必須条件であるため、それらの設定及び調整も同時に行うこと。

2. 賃貸借期間

2025(令和7)年10月1日から2030(令和12)年9月30日まで

3. 設置場所

釧路市総務部情報システム課サーバー室内

当市が指定するラック内に搭載すること。

4. 必要とするハードウェアとソフトウェア仕様

(1) 仮想ホスト（参考機種 FUJITSU PRIMERGY RX2530 M7）

台数	1台
形状	ラックマウント1U FUJITSU PRIMERGY RX2530 M7 相当
CPU	Xeon Silver 4514Y プロセッサ (2GHz、16コア、30MB) 相当 ×2個
メモリ	計256GB以上
ドライブ	内蔵DVD-ROMユニット (Ultra Slim)
ディスク	フラッシュモジュール VMware vSphere Hypervisor 用 M.2 Flash モジュール (240GB)
FC インターフェイス	16Gbps FC HBA ボード ×2個 冗長構成でFC(SAN)スイッチに接続すること。 既存の情報系ストレージと業務系ストレージに接続し、既存データストアを利用できること。 ファイバーチャネルケーブルを必要本数分含めること。
LAN インターフェイス	Quad port LAN カード (1000BASE-T) ×2個 別途システム監視用ポートを備えること。
電源	電源900W (80PLUS Platinum 認証) ×2個 冗長構成とする。
電源ケーブル	AC100V 対応/3m・NEMA5-15P 準拠×2本
ラックレールキット	当市のサーバラックに設置するためのラックレールキットを用意すること。
OS	既存 vSphere Standard
保証	5年間の24時間365日オンサイト保証

その他	既存 VMware vCenter サーバーから本仮想ホストを認識すること。
バックアップ	既存バックアップサーバーにて、ファイバーチャネル経由でバックアップを取得する設定を行うこと。

(2) ソフトウェア仕様

サーバーOS	Windows Server 2025 Datacenter 16 コア*2 セット
--------	--

5. 現行の仮想環境について

現在の仮想基盤は以下のとおりである。

仮想化ソフトウェア	VMware vSphere Standard 7.0	
仮想化管理ソフトウェア	vCenter Server Standard 7.0	
仮想ホスト	FUJITSU PRIMERGY RX2530 M4 (更改対象機器)	1 台
	FUJITSU PRIMERGY RX2530 M5	4 台
	FUJITSU PRIMERGY RX2530 M6	3 台
	FUJITSU PRIMERGY RX2530 M7	3 台
FC (SAN) スイッチ	Brocade G610 FC スイッチ	2 台
ストレージ	FJITSU ETERNUS AF150 S3	2 台

6. 仮想基盤構築要件

仮想基盤の構築要件は以下のとおりである。

(1) 仮想基盤

- ① 新規仮想ホストを既存仮想基盤へ接続し、適切なゾーニングを行うこと。
- ② 既存仮想化管理サーバー（以下既存 VCSA）上に新規仮想ホストを認識させ、管理できるようにすること。
- ③ 新規仮想ホストと既存共有ストレージをクラスタ構成として設定し、冗長化構成となるよう調整すること。
- ④ 既存 VCSA 上の情報系クラスタ、業務系クラスタを調整すること。
- ⑤ 当市との協議の上、必要なネットワークを各ネットワークインターフェイスに割当てること。
- ⑥ 新規仮想ホストを既存 SAN スイッチに接続し認識させること。
- ⑦ バックアップサーバーが仮想基盤のバックアップを取得されるよう調整すること。
- ⑧ 既存仮想基盤上で稼働している仮想アプリケーションについては、新仮想基盤の安定稼働が確認されるまでは平行稼働期間をもうけること。
- ⑨ 仮想基盤のデザインシート、管理者用マニュアル、ユーザー用マニュアルを作成し納入すること。

7. 統合バックアップサーバー調整要件

統合バックアップサーバーの調整要件は以下のとおりである。

(1) 統合バックアップサーバー

- ① 新仮想基盤上の仮想マシンにエージェントをインストールせずにバックアップが取得できるよう調整すること。
- ② バックアップサーバーに保存したバックアップデータを (2) の 2 次バックアップストレージへコピーすること。
- ③ バックアップ対象サーバーは以下とする。

(ア) 業務系

- ① 新規業務系サーバー

(2) 2次バックアップストレージ

- ① スナップショットのデータを短期間、不変な状態で保護する機能（イミュータブルスナップショット）を活用し、データの編集削除のできない複製を作成してバックアップデータを保護するよう調整すること。

8. 完成図書仕様

図面、設計書、システム管理マニュアル	一式（データおよび紙媒体各1部）
工程写真、材料写真	一式（データおよび紙媒体各1部。特に、材料がもれなく納品されたことが確認できるよう全て撮影すること）

9. 契約形態

- (1) 5年60回払いの賃貸借（リース）契約とする。
- (2) 入札時に指名する事業者は構築ベンダーまたは指定するリース業者とする。
- (3) リース期間満了後は、物件を当市へ無償譲渡することから、物件にかかる固定資産税は積算から除外可能とする。

10. システム保守・サポート体制

導入年度内については、SEサポートを行い、設定内容についての問合せ対応、不具合時の調査支援を行うこと。また、重大な障害等で仮想基盤の再構築が必要と判断した場合においてはオンサイトによる再構築を行うこと。

11. その他

- (1) ハードウェア保証は釧路市内にサービス拠点を持つこと。
- (2) 構築後、不要となる機器および配線の撤去を実施すること。
- (3) 調達物品に対する初年度の保守料については、発生しないものとする。
- (4) 納品時に使用される包装等については受注者が回収し適切に処理すること。
- (5) 仕様書の解釈に当市と受託者の間に相違がある場合、当市の解釈を優先する。